

# 創ろう！ 牛久

## 安心・安全・元気な街

小域福祉ネット

# 牛久

第30号発行  
令和5年2月  
発行  
牛久小学校区  
小域福祉ネットワーク  
広報委員会  
2月・8月発行  
発行責任者  
山本 義雄



### 第30号発行 特集

**「ご存じですか」「小域福祉ネット牛久」を  
発信してから 第三十号発行となりました**

「地域力」の結集として継続できた記念号に、これまで発行に携わってこられた三名の方々にお話しを伺いました。

発行の変遷	
創刊号	高橋委員長他8名で 3回/年発行開始
H21.6.15	
第8号	全世界配付開始
H23.10.15	
第13号	2回/年発行に変更
H25.8.15	

広報紙の発行が第三十号を迎え、改めて編集にご協力いただいた地域の方々に感謝申し上げます。

「小域福祉ネット 牛久」の特徴は情報の発信のみでなく、地域の方々との理解・協力を求め良好な関係を築いていながら、進化をさせるという原点を大事にした結果だと思えます。

今後も牛久の「地域力」の一層の醸成にご協力いただき、ますますようお願いいたします。

創刊号に携わった  
常泉和男さん

当時広報分科会の委員として活動に関わり、小域福祉ネットワーク活動三年目の平成二十一年に初代小池会長の強い意向があり広報紙の発行が決定しましたが、誰が主体となりどういった紙面構成にするのか不安だらけでしたが、同僚の田中さんのお手伝いをいただくことが出来、創刊号を引受けた経緯があります。

題字と主見出しは田中さんにお願ひしました。特に主見出しの「創ろう！安心・安全・元気な街」は私達の活動の原点であり、毎号固定化するに工夫しました。

### 思いの強さが現実に



常泉和男さん

当時はまだカラー印刷する手段が少なく、牛久商工会のあるお店の印刷機をお借りして印刷し、年三回の発行をすることができ、地域の皆様方のご協力にいまさらながら感謝いたします。

変わらぬ活動の原点を大切に、今後の発行を楽しみにしています。

### 地域の応援団

### 基本フレーム制作に尽力した



田中富夫さん

常泉さんからいただいたサンプルを基に全体構成を考案し、紙面の割り付けは専用のソフトウェアが無かったため、汎用のエクセルカードを使ってテキストボックスを縦書きに設定して、小間切れに入力したボックスを配置して全体のバランスを調整した思い出があります。

創刊号の紙面のフレームは手探りで制作したため少し使いづらいフレームになってしまつたので、二号以降担当された方々にはご苦労をおかけしたのではないかと心配した記憶があります。

常に原点を大事にしなから、進化を求める皆様方からためまして敬意を感じ地域住民の一員として応援しています。

### 広報委員会の目

### 進化が継続の原点

ネットワークの活動を読者の皆さんに理解していただくため、また少しでも興味を持って読んでいただくために様々な工夫が必要でした。

例えば広報紙の主見出しの中に「ジグソーパズルで人と人のつながりの大切さ」を图案化したものもそのひとつです。

また、第四号から「あいあい広場」のコーナーを設け、チャットした気になる情報や心温まる話題をいろいろな場所で、地域の皆さんが楽しんでる様子を連載することにしました。



( 広報委員の編集風景 )

第三十号で創刊発行から十四年目になりますが、この間に広報委員として活躍した方は延べ二十四名となります。皆様のご協力のおかげで第八号から全家庭に配付を行なうことも出来ました。

広報委員会運営も、寄稿者の真意を伝えるためじっくり時間をかけて読み合わせ、校正を行いました。ひとえに地域力の結集が第三十号の発行につながったと確信しています。

広報委員 渡邊 賢一

創ろう!  
安心・安全・元気な街



会長あいさつ  
— 広報紙発刊にあたり —

牛久小  
小学校  
区  
の  
福  
祉  
に  
関  
心  
を  
持  
つ  
て  
、  
こ  
こ  
に  
「  
小  
域  
福  
祉  
ネ  
ット  
牛  
久  
」  
を  
創  
り  
出  
し  
、  
こ  
の  
街  
を  
「  
安  
心  
・  
安  
全  
・  
元  
気  
な  
街  
」  
と  
し  
て  
、  
こ  
の  
街  
を  
「  
安  
心  
・  
安  
全  
・  
元  
気  
な  
街  
」  
と  
し  
て  
、  
こ  
の  
街  
を  
「  
安  
心  
・  
安  
全  
・  
元  
気  
な  
街  
」  
と  
し  
て

牛久小学校区  
小域福祉ネットワー  
ク  
会長 小池茂夫

小域福祉ネット  
牛久

発行  
牛久小学校区  
小域福祉ネットワー  
ク  
広報分科会  
6月・10月・2月発行



「小域福祉ネット牛久」のあゆみ

広報紙「小域福祉ネット牛久」は平成二十一年六月十五日に創刊号が発行されました。以来地域の皆様  
に活動報告を中心に、地域の福祉や歴史・文化など  
様々な情報を提供してまいりました。  
第三十号までのトピックスをご紹介します。

少子高齢化の加速化による地域社会の縮小と、その結果として生じた課題の解決に、地域住民の自発的な取り組みを促すことが必要である。これら課題の解決に向け、地域の特性を活かした活動の推進が求められる。



創刊号（平成21年6月15日発行）  
広報紙発刊にあたって小池会長のあいさつ



第8号（平成23年10月15日発行）  
平成22年12月から開始した安心生活見守り事業（当時は安心生活創造事業）の訪問員フォローアップ研修

第6号（平成23年2月15日発行）  
〈あいあい広場〉  
皆吉長寿会の皆さんの初期消火訓練



第12号（平成25年2月15日発行）  
〈青少年部会の活動〉牛久小1年生対象の「昔のおもちゃ」で遊ぼう

第11号（平成24年10月15日発行）  
牛久小入口三叉路  
通学路（歩道）大幅に拡張実現

第9号（平成24年2月15日発行）  
〈あいあい広場〉更生保護女性会による牛久小での紙芝居



# 福祉ネット牛久

ポップコーンの配布もあり大いに盛り上がり、お客様は七十名ほど立ち寄りがありました。

毎月第二の日曜日は駅前「うしづくにぎわいマーケット」が開かれております。今回その一角をお借りしてPR活動をさせていただきました。社会福祉協議会から着ぐるみ「四葉ちゃん」も参加しました。



ご存じでしたか？  
去る十二月十一日牛久駅前において牛久小学校区小域福祉ネットワークの街頭PR活動を実施しました。

## 小域福祉ネットワーク活動 アンケート調査の実施

### アンケート集計結果 (51枚)

市原市内にお住まいの方	50%回答
市原市で組織されている	
小域福祉ネットワークについて	
・知っている	30%
・名前だけ知っている	30%
・知らない	40%

このアンケート結果をもとに、各種構成団体の方々と共に、安心・安全・元気な街づくりを目指して活動してまいります。ご協力ありがとうございます。



(のぼり旗)



(参加者のアンケート風景)

## あいあい広場



### 通いの場 皆吉団地

皆吉団地通いの場について紹介いたします。平成二十八年六月に高齢者体操で発足して六年半、現在は通いの場として毎週木曜日十三時三十分～十五時三十分、参加費無料(全額市補助金)で町会会館にて行っています。  
メンバー構成は男性二名、女性十八名で平均年齢は七十七歳です。当初は外部講師を招いてふまねつと運動も行っていました。現在はコロナ感染対策を十分に行いラジオ体操から始まり、いちからは筋金近トレ体操、いいあんばい体操、DVD高齢者体操、リズム体操、脳トレ、間違い探し、リズムストレッチ、高齢者ゲーム等を行っています。  
マンネリ化防止のため、日々新たな体操、ゲーム等を取り入れ、リーダーは体操毎に分担して活動しています。



(皆吉団地の皆さんのゲーム風景)

参加者からは「体が軽くなり動きやすくなった」「皆の顔が見られて会話するのが楽しい」「ポイントカードが貯まるのも楽しみ」「ゲームが面白い」等好評です。笑って、話して、体を動かすのが健康の元、みなさん通いの場を始めて見ましょー！

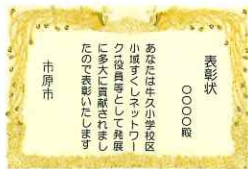
## 市原市表彰 社会功労表彰

小池茂夫さん 中 孝壽さん

阿部康子さん 渡邊賢一さん 鈴木みち子さん

### 訃報

牛久小学校区小域福祉ネットワーク会長の志村紀嘉さんがご逝去されました。故人は、平成十九年ネットワーク設立時に理事に就任し、平成二十七年からネットワーク会長として地域福祉の推進に尽力されました。生前のご活躍に敬意を表し、謹んでご冥福をお祈りいたします。



### 編集後記

昨年のサッカーW杯カタール大会で長友選手が日本選手を鼓舞した『ブラボー』賞賛の意を込めて発する感嘆詞ですが、日常生活で使用される機会はまれです。いまは社会全体が不安だらけ「飛躍と跳躍の象徴、卯年の本年」地域力でお互いがブラボーと称えあえる1年にしたいものです。安心生活見守り事業の連絡先は山本義雄になります。☎090-2641-7047

山本 義雄 【広報委員長】

「地域の絆」「みんなの力のつながり」..これが「小域福祉ネットワーク」です